



**二の神殿  
西面腰長押補修**

先月で楼門の解体が完了し、今月は二の神殿・三の神殿の補修を中心に行いました。二の神殿では、腰長押という部材を神殿本体から取り外し、腐朽部分に矧木を施しました。



この部材です

**二の神殿  
浜縁縁束補修**

以前解体した浜縁の部材のうち、縁束と呼ばれる部材の腐朽部分に、埋木を施しました。

この部材です



**三の神殿  
南面妻飾**

三の神殿では、南側と北側にも足場を設け、軒廻りの補修を行いました。その際、普段は防鳥網で遮られている軒下の妻飾(つまざり)と呼ばれる部分を見ることができました。



この部分です



**三の神殿  
北面妻飾**

南面とほぼ同じ構成ですが、写真中央の彫刻が南北で異なります。  
南面は植物のみですが、北面は動物も彫られ、唐獅子と牡丹という組み合わせとなっています。



**楼門  
部材調査中**

解体した部材の調査を、引き続き行っています。



**楼門  
部材格納中**

調査の完了した部材は、解体材保存小屋への格納を行っています。